

No.30 鳥取県・米子市（域内経済強化のエリアマネジメント）

地域力創造アドバイザー	又吉 重太 氏（A607）
活用分野	まちなか再生、関係人口の創出・拡大、地域づくり人材の育成・教育
活用期間（頻度）	令和6年度から制度活用（月2回現地協議、月6回オンライン協議）※令和3年度から継続して関与いただいている。
キーワード	#営み#空間#支える仕組#地域住民#温泉地#海辺#エリアマネジメント#まちづくり#エリア経営#情報発信 #ワークショップ#関わり代拡大#開業支援#低未利用地#中間支援組織#ビジョン#来街支援#マーケティング

【目的】

皆生温泉エリアの持続的な経済発展のためには、「選ばれ続ける温泉地」となることが必要である。しかしながら、本温泉地の経営手法には、旅館単体のブランド力で誘客するものがベースにあり、温泉地としての面的なまちづくりが充分とはいえない現状にあった。そのため、個人旅行・トキ消費トレンドといった旅行ニーズの多様化に対応できず、空き地・空き店舗の多い閑散とした街に変化した。また、閑散期と繁忙期の大きなギャップが存在し、不安定な温泉地経営が続いていた。

これらの課題に対処するため、令和4年度にビジョンを定め、宿泊客だけではなく、通年で訪れる方・住まう方の来街を受け入れるウェルビーイングなまちを目指し、「営み・空間・支える仕組み」のマネジメントに着手した。

【内容】

地域住民の来街支援・滞在時間の延長・域内消費の拡大に取り組むとともに、新たな活動者・経営者の関わりしるの拡大を図った。加えて、『地域の日常があり、訪れたくなる「まち」』としてのブランディングに取り組むなど、多様な軸でまちの魅力向上を図り、観光産業の柱である宿泊者増に寄与すべく各種の取組を推進した。

皆生温泉エリア経営実行委員会への伴走型アドバイザー

定例会の事務局支援、情報発信支援、事業者誘致開業支援、ビジョン更新支援、WS運営支援
まちなみデザイン検討支援、まちづくりにおける中間支援の在り方検討の伴走

かいけラボ共同時様態への伴走型アドバイザー

みんとしよ設立・運営事業、定期的な来街支援イベント事業、人材発掘・育成事業
不動産流動化に係るサブリース事業

【成果（見込み）】

- 新規開業店舗数 R4:9店舗、R5:5店舗、R6:3店舗、R7（目標）:3店舗
- ビジョンの更新「KAIKE AREA DESIGN ver2.0」（WSを通じて策定）
- エリアマネジメント活動の受賞歴
→R4ソトノバアワード大賞、R5グッドデザイン賞、R6デザイン白書掲載、NEXTPUBLICAWARD（公共R不動産）
- コロナ前の宿泊客数の水準に回復（24万人→40万人）
- 地域住民へのエリアマネジメント情報紙によるエリア経営の認知向上（0→50%）



（ビジョンイラスト）